

## ■アンケート調査結果の概要■

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の設計

- 調査の時期：平成26年6月5日～6月27日
- 調査の対象：難病患者
- 調査の方法：アンケート期間中、茅ヶ崎保健福祉事務所の窓口にて配布、回答は郵送にて行いました。

#### (2) 回収結果

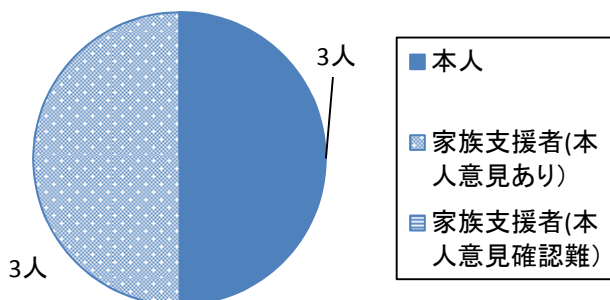
- 回収数：7通
- 回答の疾患名：  
脊髄小脳変性症、強皮症、多系統萎縮症 2人、潰瘍性大腸炎、未回答 2人

#### (3) 報告書の見方

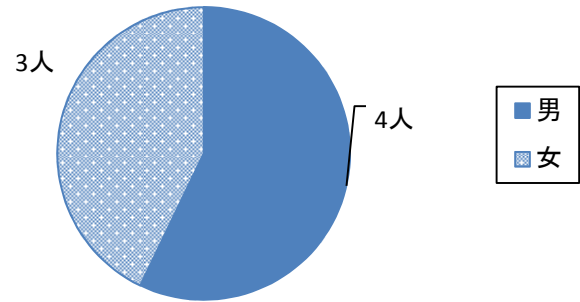
- (1) 調査結果については、未回答は無効としているため、単数回答でも合計が必ずしも回収数になるとは限りません。
- (2) 複数回答の質問は、回答数を積算しています。
- (3) 回答数が0であった質問は調査結果からは省略しました。

### 2. 回答者の属性

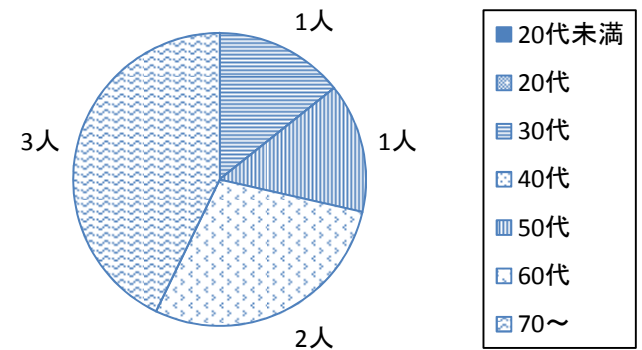
#### (1) 調査票記入者



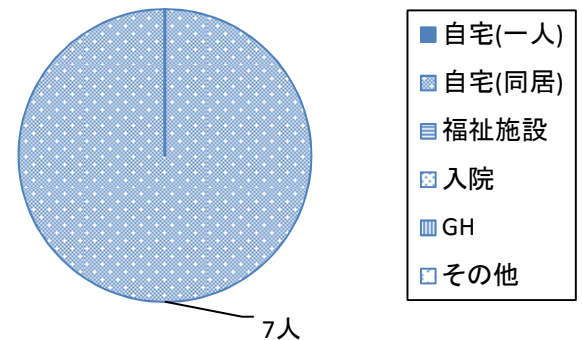
#### (2) 性別



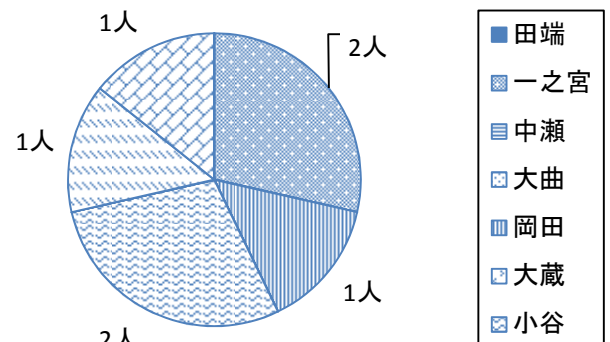
#### (3) 年齢



#### (4) 生活している場所



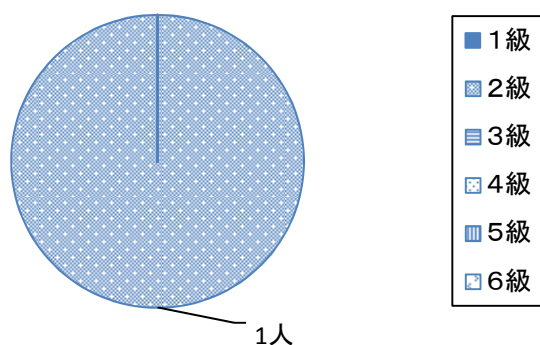
#### (5) 居住地



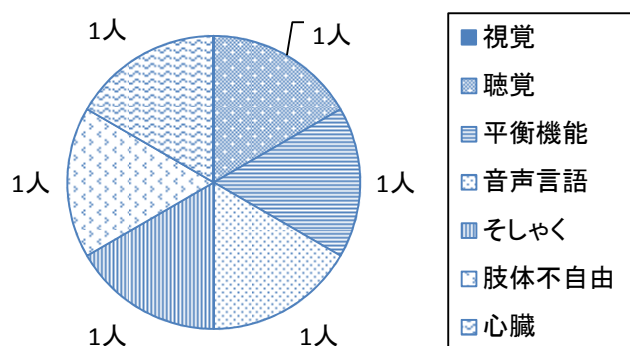
### 3. 障がいの状況について

#### (1) 身体障害者手帳所持者

##### ①障がいの等級



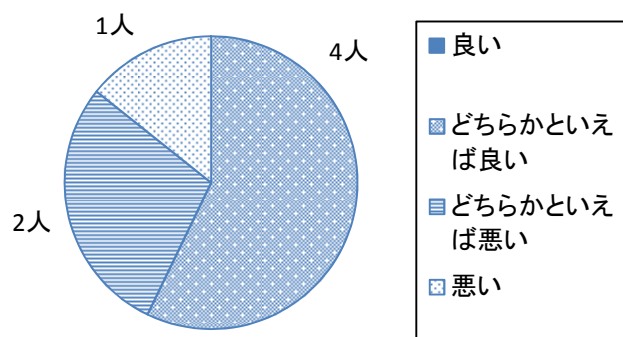
##### ②障がいの種別



### 4. 健康や医療について

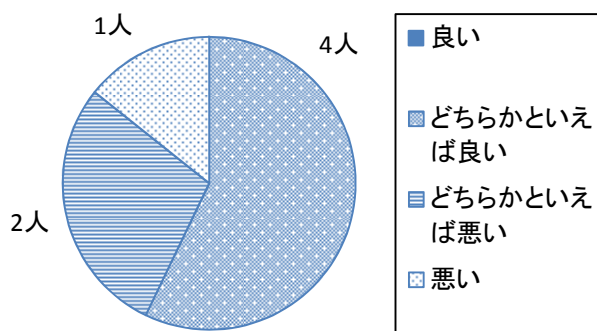
#### (1) 身体的な健康状態

質問：ご本人の最近の身体的な健康状態（ここ3ヶ月以内）はいかがですか。



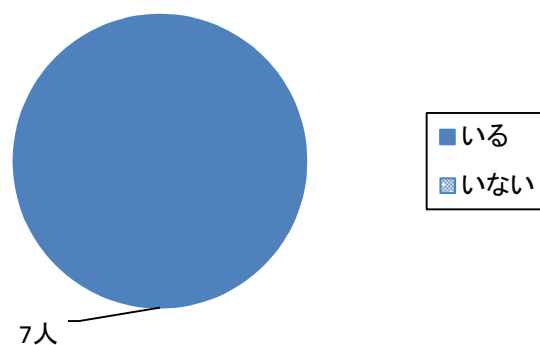
#### (2) 精神的な健康状態

質問：ご本人の最近の精神的な健康状態（ここ3ヶ月以内）はいかがですか。



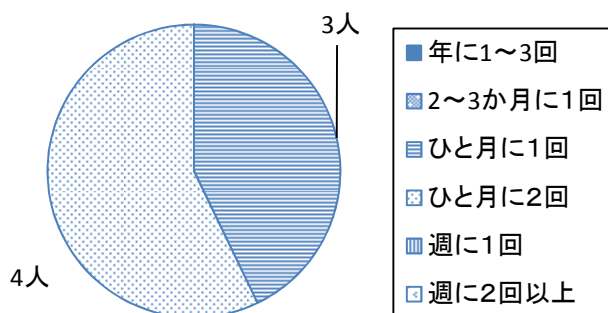
#### (3) かかりつけの医師（医療機関・診療所）について

質問：日頃、ご本人が治療を受けたり、健康について相談できる「かかりつけの医師（医療機関・診療所）」がありますか。



#### (4) 医療機関等へ行く回数

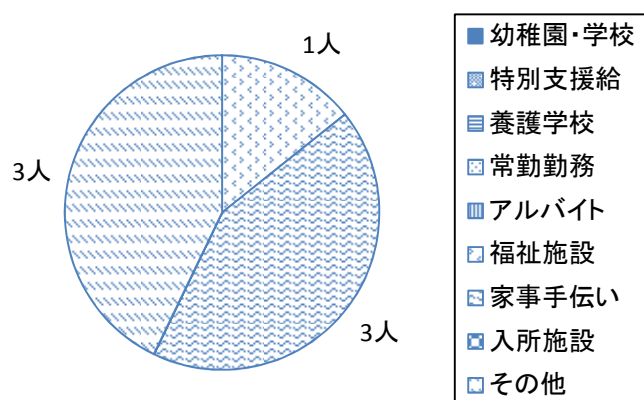
質問：ご本人が医療機関等へ行く回数は、どの程度ですか。



## 5. 日常生活について

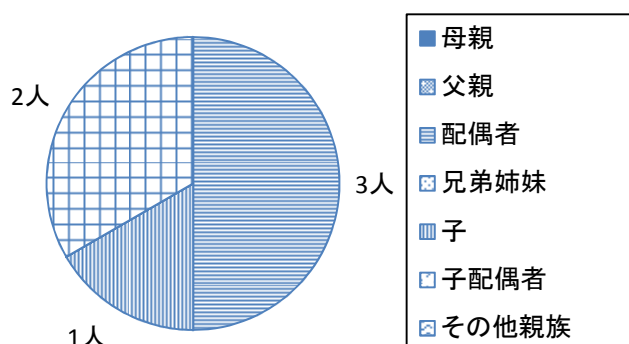
### (1) 日中の過ごし方

質問：ご本人は、主に日中どのように過ごしていますか。



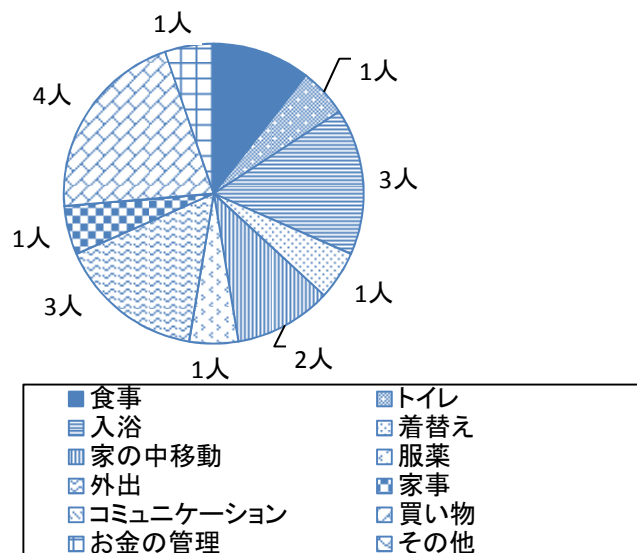
### (2) 主な介助者

質問：ご本人は、普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主に介助している方をお答えください。



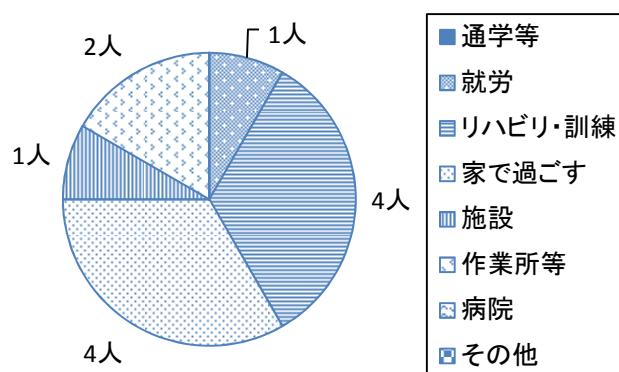
### (3) 介助や支援が必要な項目

質問：普段の生活で介助を必要としている方のみお聞きします。介助や支援が必要な項目は次のうちどれですか。（あてはまるもの全てに○）



### (4) これからの活動希望

質問：ご本人は、これからどのような活動をしたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）



日中は「家事手伝い」「その他」の割合が最も高く、介助者は「配偶者」が過半数を占めました。

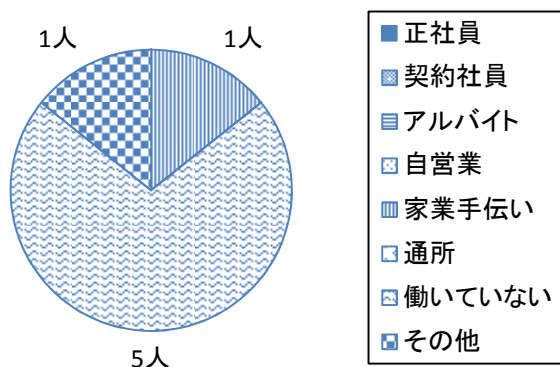
普段の生活での介助は、「買い物」が最も多く、「外出」「入浴」が続き、身体障害手帳所持者と同様、外出時の介助が必要な傾向でした。

今後の活動については、「リハビリ・訓練」の割合が高いのが難病患者の特徴であり、「家で過ごす」に並ぶ回答数でした。

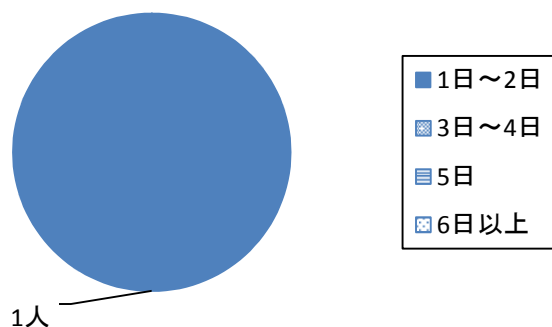
## 6. 就労状況について

### (1) 就労の状況

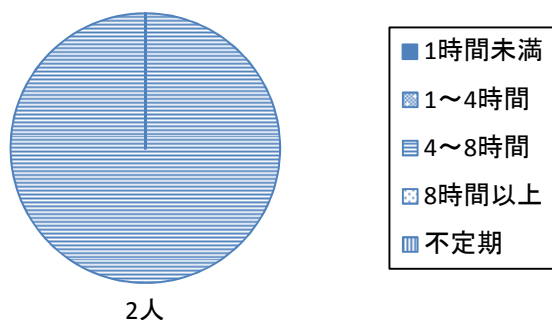
質問：ご本人の就労状況についてお答えください。



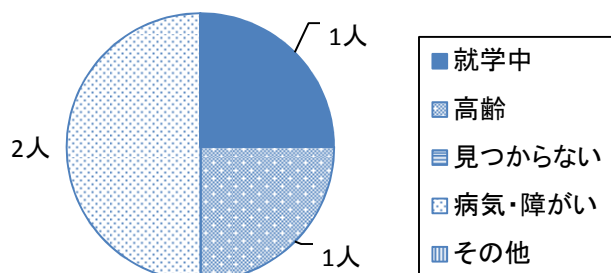
質問：働いている方、または通所されている方にお聞きします。週に何日通われていますか。



質問：働いている方、または通所されている方にお聞きします。1日に何時間働いていますか、または過ごされていますか。

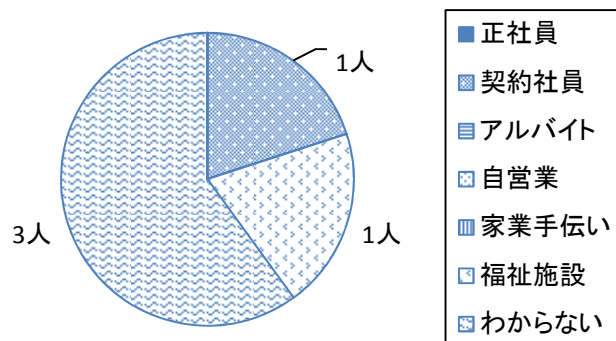


質問：「働いていない」とお答えの方にお聞きします。働いていない理由はなんですか。



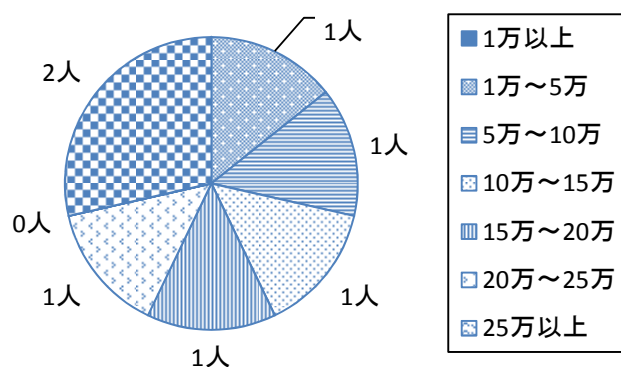
### (2) 就労の希望

質問：「働いていない」とお答えの方にお聞きします。働くに当たりどのように働きたいですか。



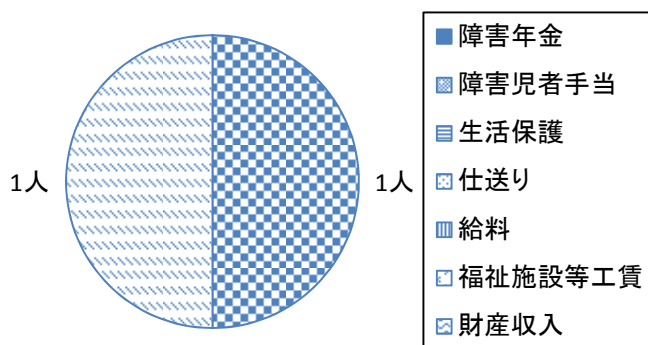
### (3) 月の収入

質問：ご本人の、月の全ての収入はどのくらいですか。



### (4) 主な収入源

質問：主な収入源は、どれですか。



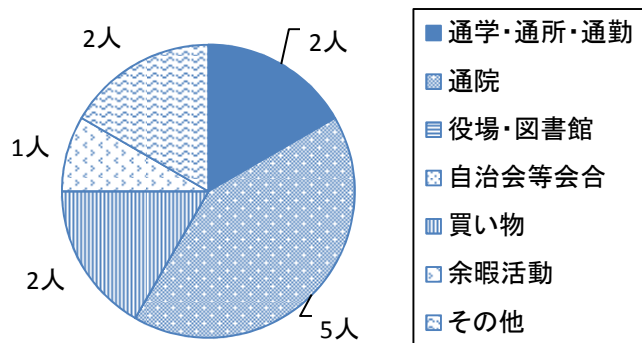
就労状況については、障害者手帳所持者と同様に「働いていない」が最も多く、その理由は「病気」が半数を占めました。

どのように働きたいかという設問も、障害者手帳所持者と同じく「わからない」が最も多い回答でした。

## 7. 外出や地域活動について

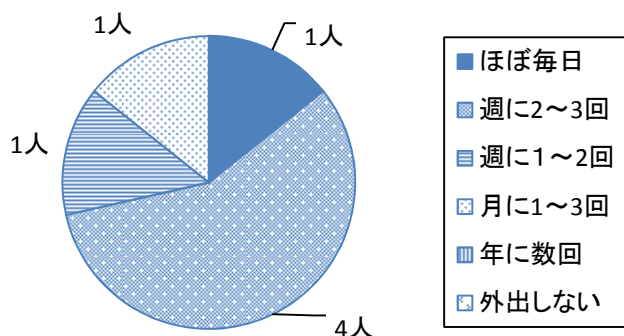
### (1) 外出の目的

質問：どのような目的で外出していますか。（多いものから二つに○）



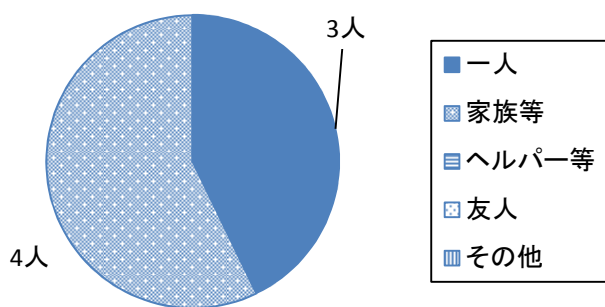
### (2) 外出頻度

質問：ご本人の外出の頻度はどのくらいですか。



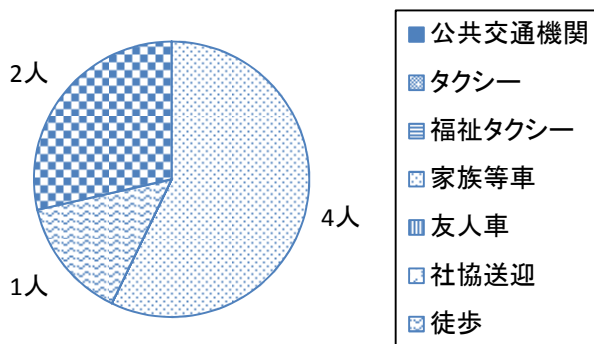
### (3) 外出の際のつきそい

質問：ご本人が外出する際、主にどのような方がつきそい（支援）していますか。



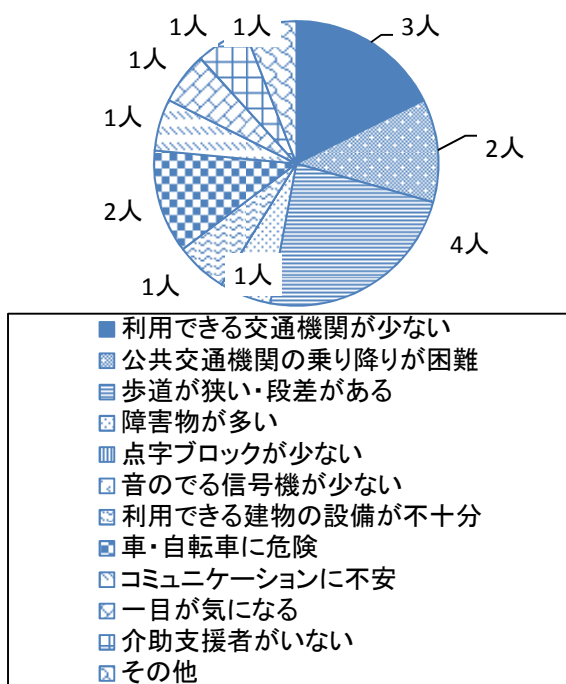
### (4) 外出する際の手段

質問：ご本人が外出する際、どのようなかたちで外出していますか。もっとも多い手段を選んでください。



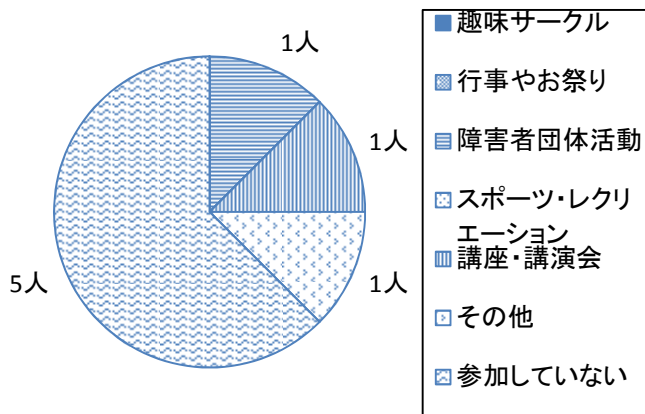
### (5) 外出の際、困ること

質問：外出している際、または、外出しようとする際に困ることはどのような事ですか。（あてはまるもの全てに○）

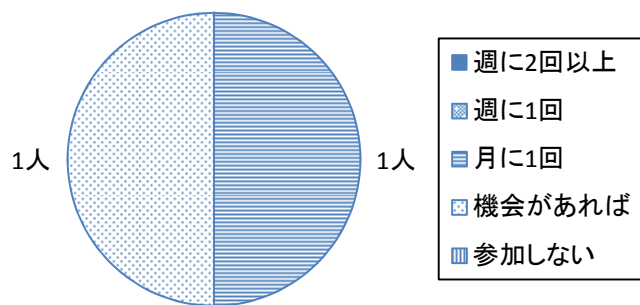


### (6) 地域活動の参加状況

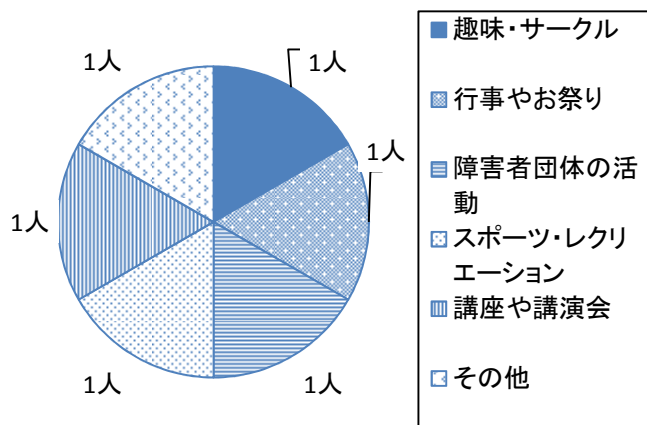
質問：ご本人について、地域での活動に参加していますか。（あてはまるもの全てに○）



質問：「参加している」と回答した方のみ、お聞きします。参加回数はどの程度ですか。（あてはまるもの一つに○）



質問：これから、どのような活動をしたい、または参加をしたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

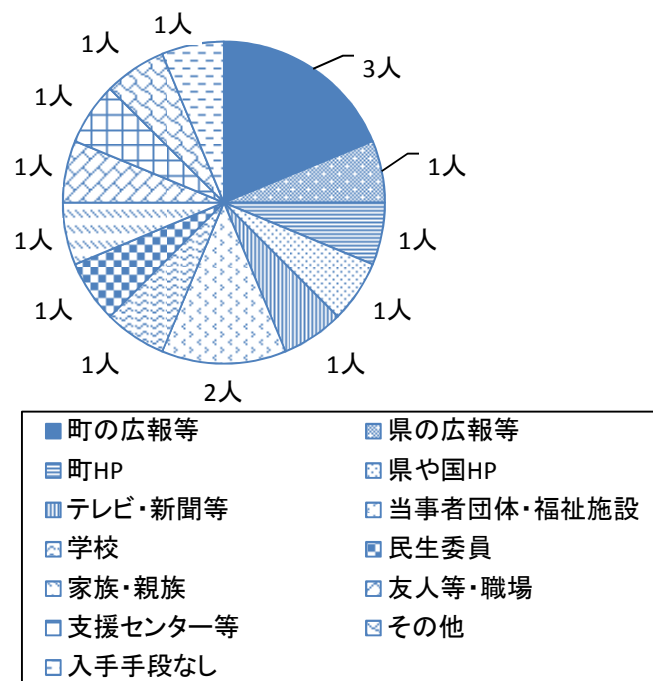


外出の目的は、「通院」との回答が最も多く、「通学・通所・通勤」「買い物」「その他」が続きます。外出の頻度は「週に2～3回」が過半数となり、「外出しない」という回答も1人いました。外出のつきそいについては、「家族」が最も多いものの、「1人」との回答も次に高い回答数でした。外出手段は「タクシー」が過半数を占め、困ることに「歩道が狭い・段差がある」「利用できる交通機関が少ない」との回答が多く、タクシーを使わざるを得ない状況がうかがえます。地域での活動については、「参加していない」が過半数を占め、参加している方も「月に1回」「機会があれば」が1人ずつと頻度はそれほど多くないようです。

## 8. 相談・情報等について

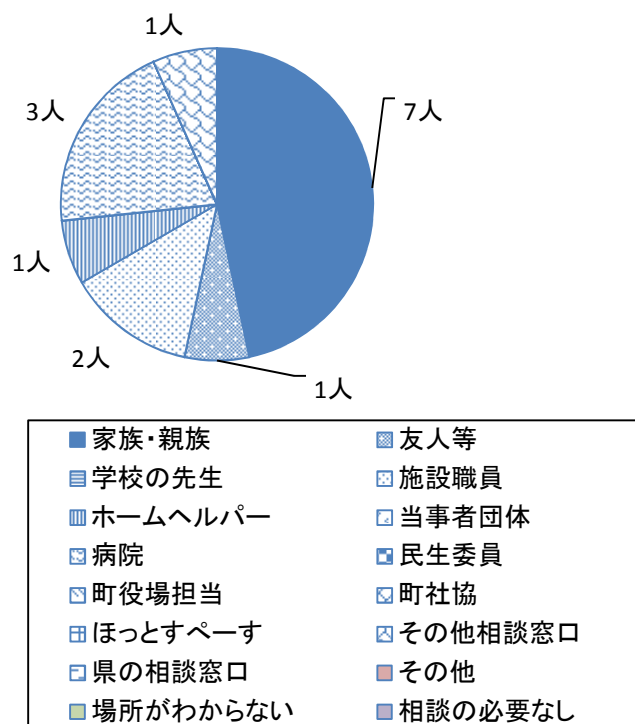
### （１）福祉サービス等の情報入手先

質問：ご本人について、福祉サービス等の情報について、どのように入手していますか。あてはまるものを選んでください。



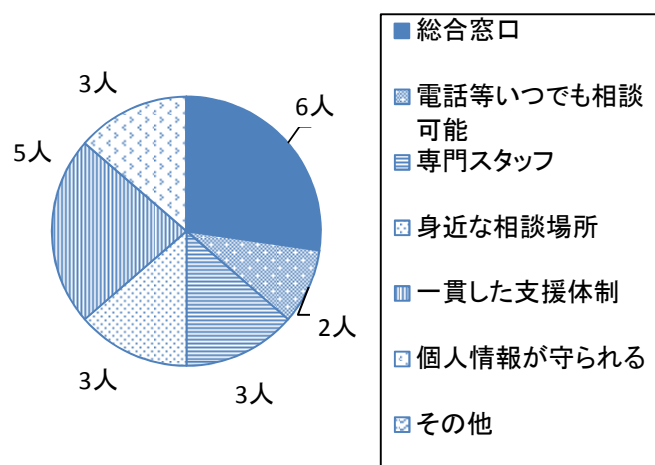
### （２）相談相手

質問：ご本人は、困った事や悩み事、心配事があったとき、どなたへ相談していますか。あてはまるものを選んでください。



### （３）相談機能のために必要なこと

質問：相談機能の充実のために、どのような事が必要だと思います。（あてはまるもの全てに○）



情報の入手先については、回答が分散しました。

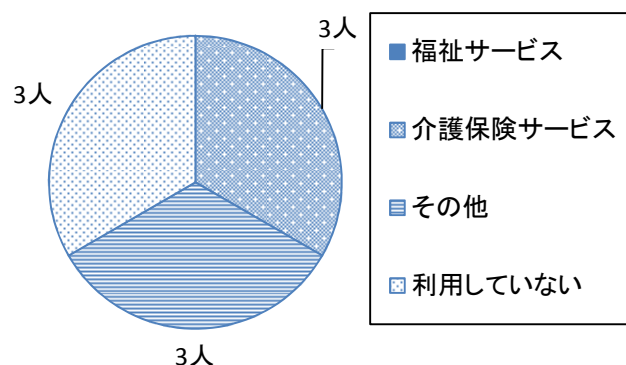
相談相手は「家族・親族」が最も高い割合を占め、「病院」が続きました。

相談機能のために必要なことについても、回答が分散しましたが、「総合窓口」が最も高い回答数を占め、「一貫した支援体制」が続きます。

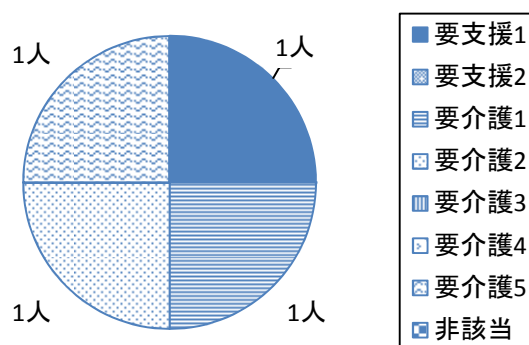
### 9. 福祉サービス等の利用状況・意向について

#### （１）サービス等の利用状況

質問：ご本人は障害者総合支援法あるいは介護保険法によるサービス等を利用していますか。



質問：ご本人の「要介護状態区分」についてお答えください。（あてはまるもの一つに○）



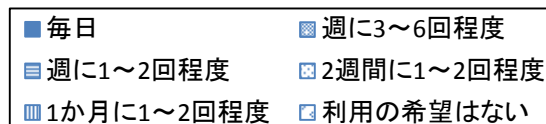
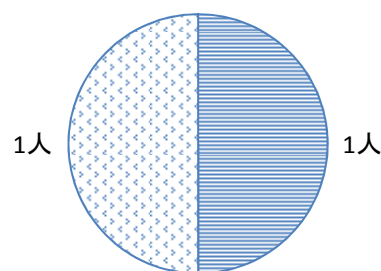
#### （２）具体的な福祉サービスの利用量と希望量

質問：ご本人の福祉サービスに関してご回答ください。

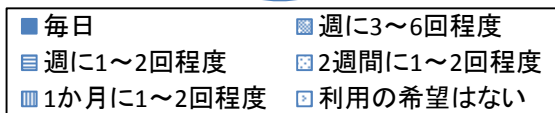
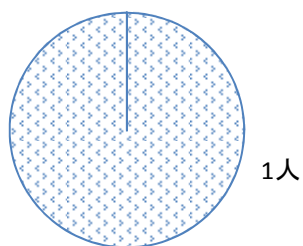
「現在の利用量」と「今後の利用の意向または希望量」について、あてはまるすべての数字に○をしてください。

※現在、福祉サービスの利用者がいなかったため、希望量のみ掲載します。

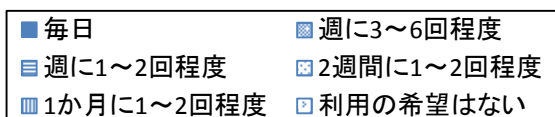
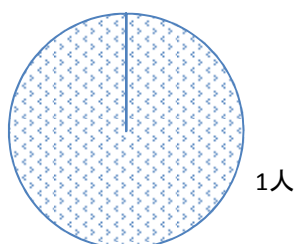
#### 【居宅介護】



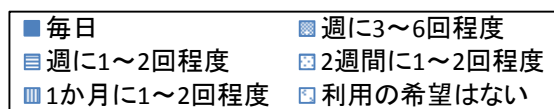
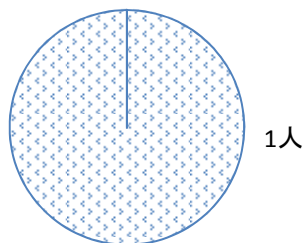
### 【重度訪問介護】



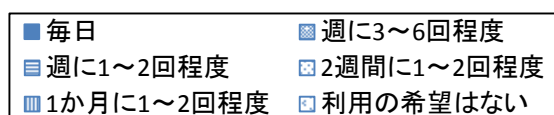
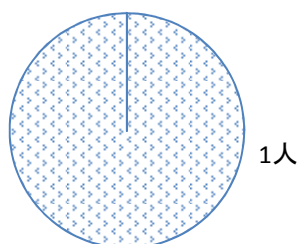
### 【行動援護】



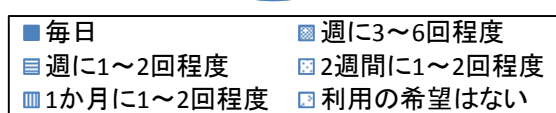
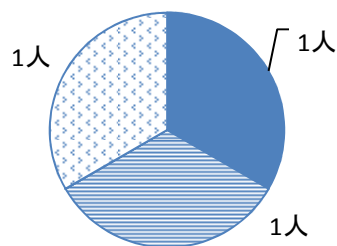
### 【同行援護】



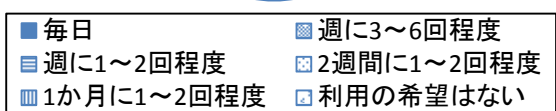
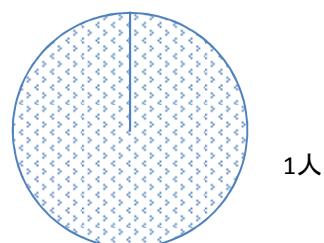
### 【重度障害者等包括支援】



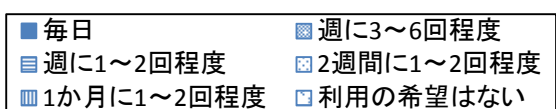
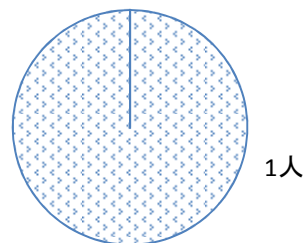
### 【生活介護】



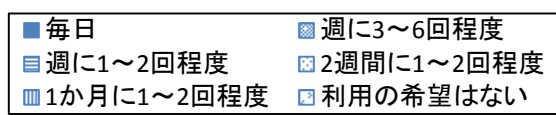
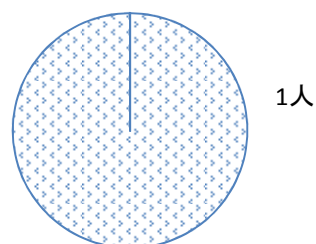
### 【自立訓練】



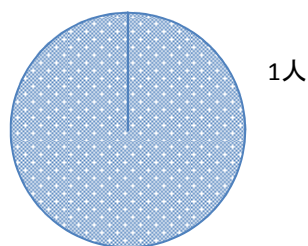
### 【就労移行支援】



### 【就労継続支援】

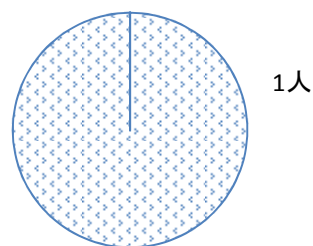


【療養介護】



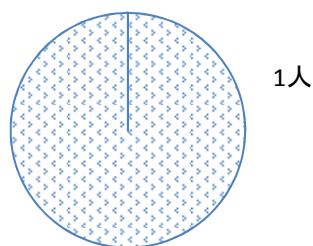
■ 利用したい ■ 利用の希望はない

【児童発達支援】



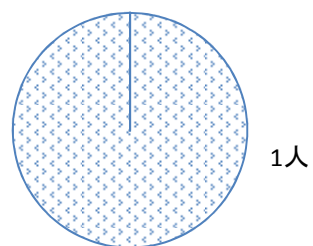
■ 毎日 ■ 週に3～6回程度  
 ■ 週に1～2回程度 ■ 2週間に1～2回程度  
 ■ 1か月に1～2回程度 ■ 利用の希望はない

【短期入所】



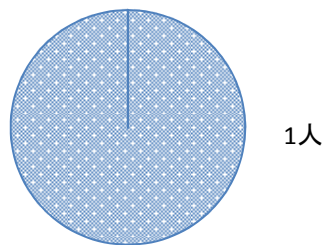
■ 毎日 ■ 週に3～6回程度  
 ■ 週に1～2回程度 ■ 2週間に1～2回程度  
 ■ 1か月に1～2回程度 ■ 利用の希望はない

【放課後等デイサービス】



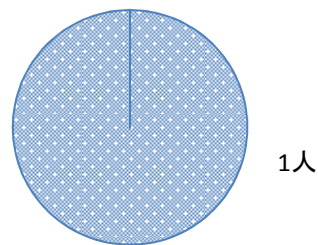
■ 毎日 ■ 週に3～6回程度  
 ■ 週に1～2回程度 ■ 2週間に1～2回程度  
 ■ 1か月に1～2回程度 ■ 利用の希望はない

【共同生活援助】



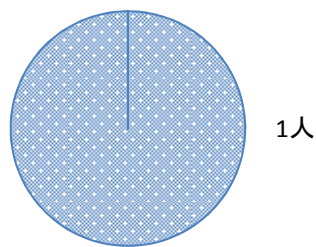
■ 利用したい ■ 利用の希望はない

【コミュニケーション支援】



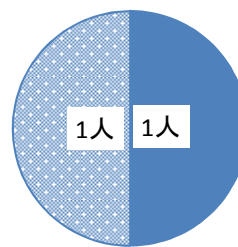
■ 利用したい ■ 利用の希望はない

【施設入所】



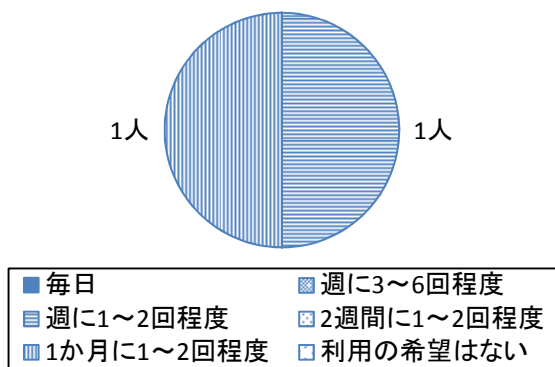
■ 利用したい ■ 利用の希望はない

【日常生活用具】

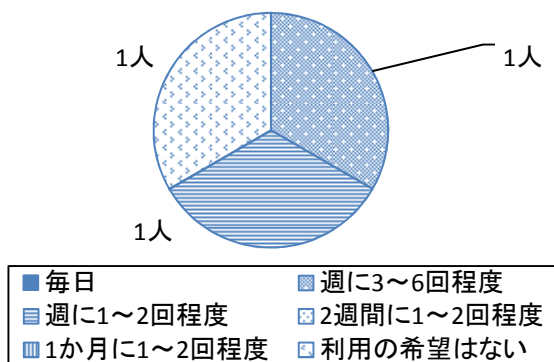


■ 利用したい ■ 利用の希望はない

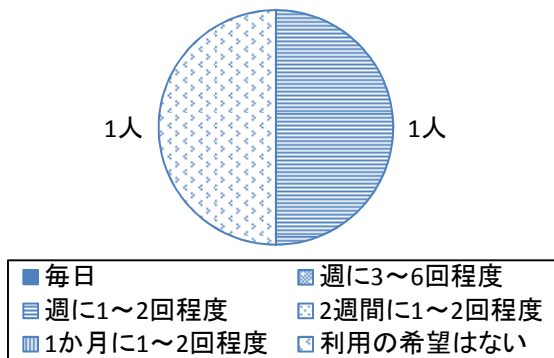
## 【移動支援】



## 【訪問入浴】



## 【日中一時支援】

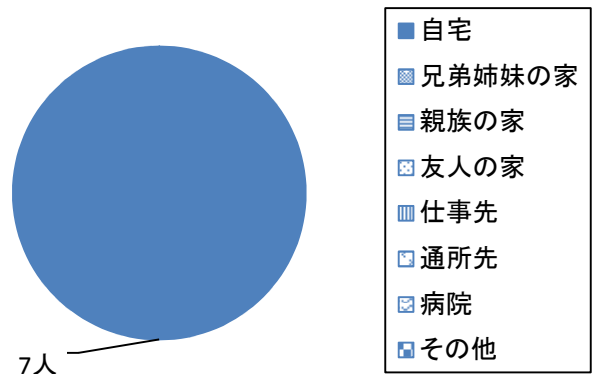


サービス等の利用状況については、「介護保険サービス」「その他」「利用していない」が同数でした。要介護状態区分は「要支援1」「要介護1」「要介護2」「要介護5」がそれぞれ1人ずつでした。サービスの希望については、「希望なし」との回答が多かったですが、「居宅介護」「日常生活用具」「移動支援」「訪問入浴」「日中一時」といった福祉サービスの利用希望があり、在宅での支援を希望している傾向がうかがえます。

## 10. 災害時について

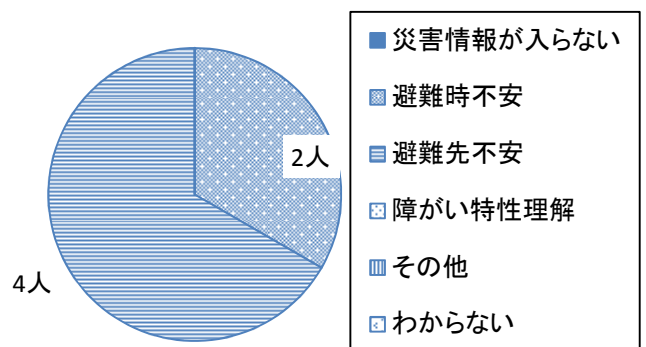
### (1) 普段の生活の場

質問：普段の生活をしている場所について、もっともあてはまるものを選んでください。

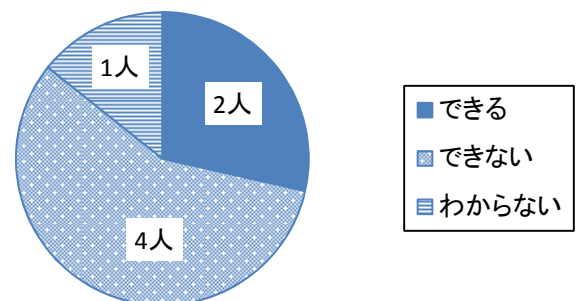


### (2) 災害時の不安

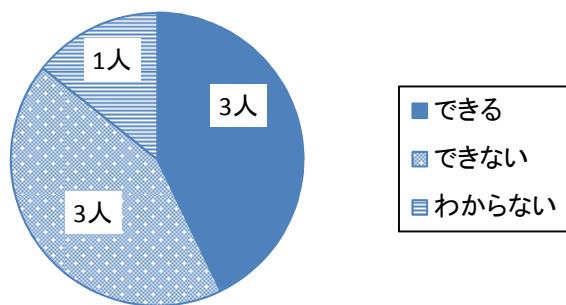
質問：災害時の不安について、もっともあてはまるものを選んでください。



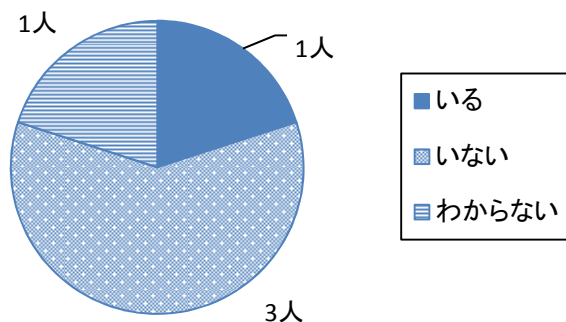
質問：地震などの災害時に、ひとりで避難することができますか。もっともあてはまるものを選んでください。



質問：地震などの災害時に、あなたは周囲の人に助けを求めることができますか。もっともあてはまるものを選んでください。

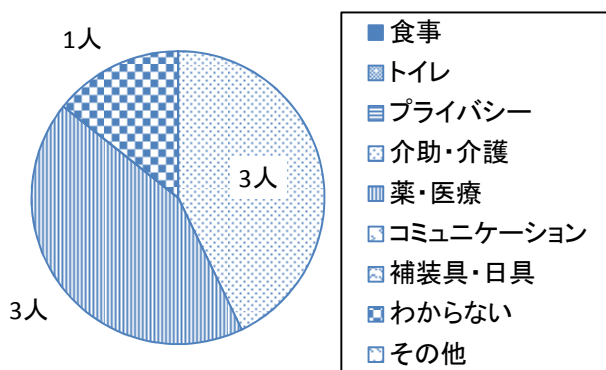


質問：同居家族が不在の場合または、一人暮らしの場合、ご近所にあなたを助けてくれる人はいますか。



### (3) 避難所での不安

質問：災害時に、避難所等で具体的に困ると思われることについて、もっともあてはまるものを選んでください。

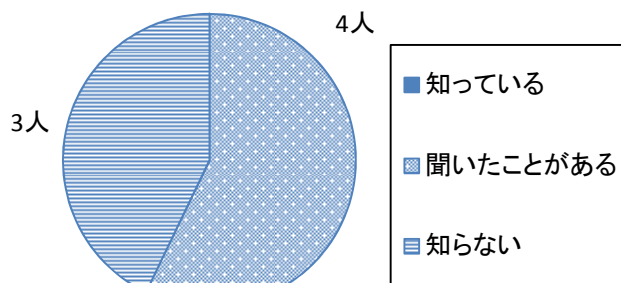


普段の生活の場は全ての方が「自宅」との回答でした。災害時の不安は、「避難先での不安」が最も高く、「介助・介護」「薬・医療」での不安が高い回答数でした。また、災害時には、一人で避難できないとの回答が過半数を超えるなど、避難時の不安もありそうです。

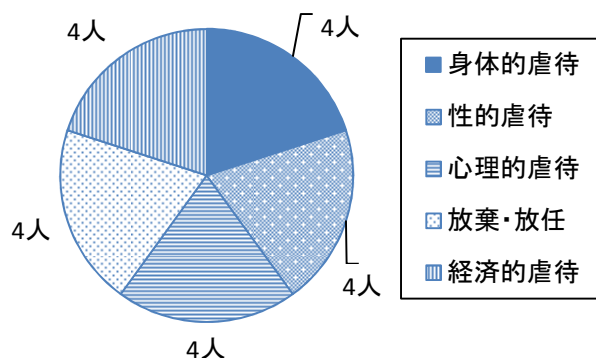
## 10. 障がいのある方の権利擁護について

(1) 「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律」(以下、「障害者虐待防止法」)について

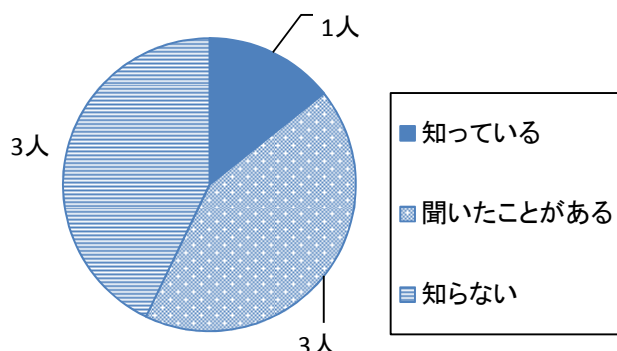
質問：ご本人は、「障害者虐待防止法」を知っていましたか。



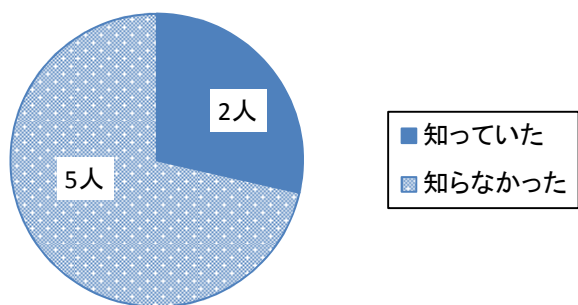
質問：「障害者虐待防止法」では①擁護者（両親などの保護者）②障害者福祉施設従事者（施設の職員や世話人など）など③使用者（就労先の社長や上司など）による次の1～5を虐待としています。ご本人は知っていますか。



質問：「障害者虐待防止法」では、家庭や施設、職場で障がい者が虐待を受けたり、虐待をされている疑いがあったら「障害者虐待防止センター（寒川町福祉課）」に通報することが義務付けられています。ご本人は知っていましたか。

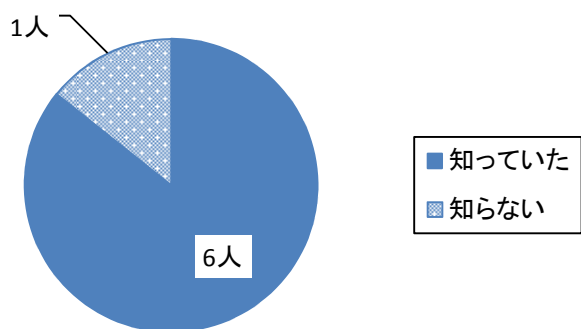


質問：通報しても通報者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。

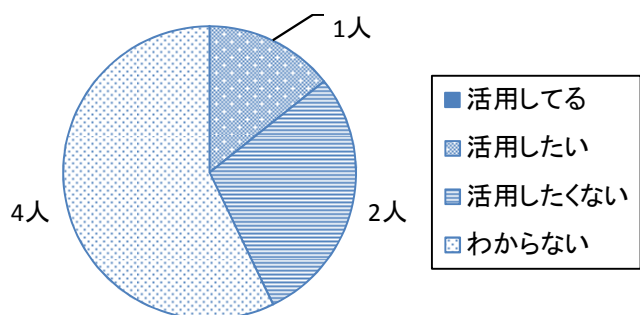


## （２）成年後見制度について

質問：ご本人は、成年後見制度について知っていますか。



質問：ご本人は将来成年後見制度を利用したいと思いますか。

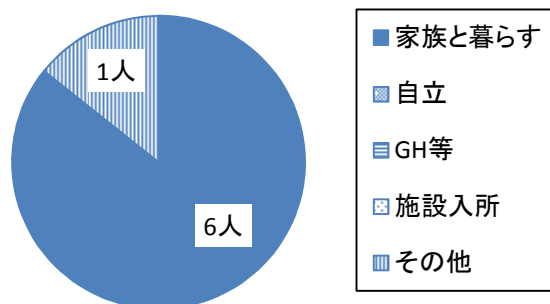


「障害者虐待防止法」について、「聞いたことがある」が過半数を占め、「知らない」が続きました。しかし、通報義務・通報者への配慮などの「障害者虐待防止法」の内容については、約半数が「知らない」との回答であり、制度の周知が進んでいない状況がうかがえます。成年後見制度については「知っている」が多数でしたが、利用希望は「わからない」が最多の回答数です。

## １２．将来の暮らしについて

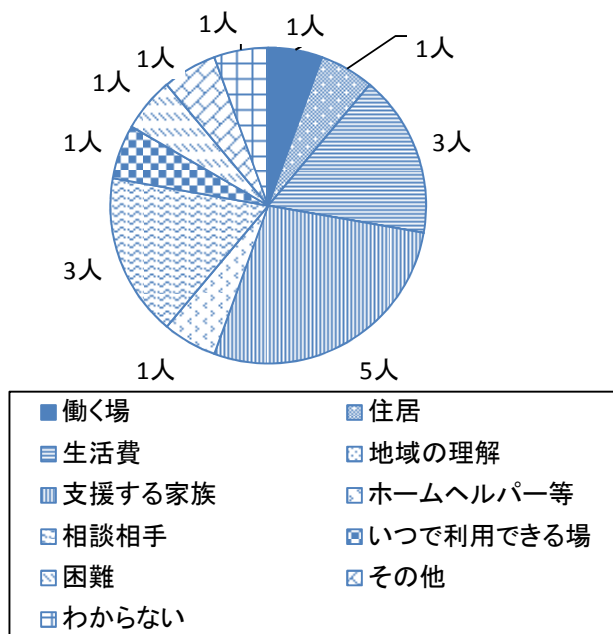
### （１）将来の暮らしの希望

質問：ご本人について、将来どのような暮らし方をしたいですか。もっともあてはまるものを選んでください。

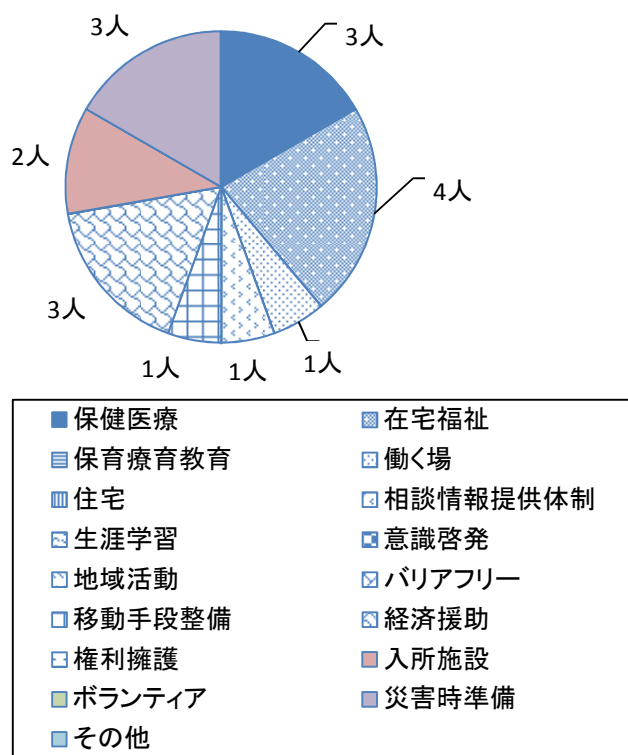


### （２）地域で自立した生活ができる条件

質問：地域で自立した生活ができるには、どのような条件等が整う必要があると思いますか。あてはまるものを選んでください。（あてはまるもの３つまでに○）



(3) 障がい福祉施策を充実させるために必要なこと  
 質問：今後、障がい福祉施策を充実させるために、どのような事に力を入れていく必要があると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)



将来の暮らしについては、「家族と暮らす」がほとんどの回答を占めました。

地域で自立した生活ができる条件も回答は割れました。自立した生活のためには多くの条件を必要ようです。その中でも、「支援する家族」が最多となり、「生活費」「ホームヘルパー等」となり、今後も在宅での生活を希望している傾向がうかがえます。

障害福祉施策を充実させるために必要なことでは、「在宅福祉」が最多を占め、前の設問を裏付ける結果となりました。また、「保健医療」「経済援助」「災害時の準備」が続きました。

質問：「障がい者が地域で暮らせる社会」、「自立と共生の社会」を目指す、障がい者福祉計画の見直しにあたって、ご意見、ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

#### 【回答】

- ・道が狭く、歩道が少ない。段差もあり、不便で危険が多い。店も一件ずつ別々で移動が面倒である。
- ・気軽に相談できる場所が欲しい。
- ・障害者手帳を持っていなくとも、町のサービスを受けたい。
- ・手すりを設置したが、転居に伴い、原状回復を求められた。設置費用もだが、撤去費用も経済的な負担が大きい。
- ・病状の悪化で二階への上り下りに介助の手が必要になる。バリアフリーの必要がある。